



タブレットを活用した現地調査の取組みについて紹介します。

(1/2)

今回紹介する団体：水土里ネットみやぎ

取組概要

内容： 本県では平成26年度より「水土里情報システム」を活用し、土地改良区などで管理している農業水利施設情報の整備を進めている。今後は、そのデータを活用し、適切な維持管理及び効率的な機能保全対策の実施に向けて、タブレット(水土里egg)の有効活用を図り、施設の更新履歴、機能診断による安全性評価など、長寿命化対策に活用していけるよう取組みたい。

経緯： ①本県の農業水利施設は、既に標準耐用年数を超過している施設も多く、施設管理に苦慮している状況であり、現地調査にあたっては資料の作成や準備に多大な労力や時間を費やし、データの管理も煩雑化していた。また、現地における施設位置の把握にも苦慮している状況にある。
②調査の効率化・省力化を図るため、現地調査用タブレット(水土里egg)を活用するもの。

農業用排水路での活用例

水土里情報システムの画面



タブレット(水土里egg)の画面



データの取り込み・反映

